

「訃報のお知らせ」

葬儀施行会社として、改めて故人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。 合掌

有限会社 屋久島葬祭
☎42-2941

故母辻満守子儀九月七日八十一歳の生涯をとじました。

鹿児島県熊毛郡屋久島町一湊二一五二
良主 辻 真 喜
長女 池田 真 澄
二女 藤次 喜 愛
三女 辻 康 司
外親 族 一 同

故父日高節丸儀九月十五日九十一歳の生涯をとじました。

鹿児島県熊毛郡屋久島町安房一四四一四
良主 日 高 工 三
長女 森下 美 百合
長女 森下 立 美
二女 西岡 立 美
二女 西岡 和 則
三女 江村 み ちる
三女 江村 浩
外親 族 一 同

故妻石川リツ子儀九月二十二日八十一歳の生涯をとじました。

鹿児島県熊毛郡屋久島町安房二四〇七一七
良主 石川 宗 由
長男 石川 宗 治
長男 石川 宗 治
長女 石川 美 奈 江
二男 石川 淳
二男 石川 紀
外親 族 一 同

故父岩山光清儀九月二十七日八十七歳の生涯をとじました。

鹿児島県熊毛郡屋久島町安房一一八
良主 岩山 鶴 美
二女 矢口 妃 都 恵
二女 矢口 利 男
三女 草壁 瑞 恵
三女 草壁 謙 二
四女 三坂 明 美
四女 三坂 亮
五女 中川 か お り
六女 柴崎 郁 代
六女 柴崎 茂 光
外親 族 一 同

故夫眞邊助一朗儀九月二十四日七十一歳の生涯をとじました。

鹿児島県熊毛郡屋久島町一湊四一八一二
良主 眞邊 妙
長女 眞邊 知 佳
姉 清原 千 夕 夕
姉 和田 柳 子
外親 族 一 同

株式会社 アムール屋久島

故兄種田義和儀九月十二日七十三歳の生涯をとじました。

鹿児島県熊毛郡屋久島町平内四七二番地五
良主 芝原 千 子
姉 久保 茂 子
姉 種田 節 子
姉 梅田 里 子
弟 種田 里 子
弟 山崎 里 子
弟 種田 里 子
外親 族 一 同

故母川畑シゲ子儀九月十三日九十三歳の生涯をとじました。

鹿児島県熊毛郡屋久島町原五五四番地一
良主 川畑 孝 博
長男 川畑 八 千 代
二男 川畑 慎 太郎
長女 重森 英 子
二女 北谷 好 子
三女 土谷 美 世子
外親 族 一 同

故母岩川ソメ儀九月十八日八十六歳の生涯をとじました。

鹿児島県熊毛郡屋久島町尾之間八〇七番地一五
良主 岩川 正 彦
二男 岩川 安 彦
長女 阿比留 ゆ り 子
外親 族 一 同

オズからの お知らせ

大売出しを行った際、店内での忘れ物です。



斎場からの お知らせ

各斎場に、ご遺族のためにドライヤーを完備していますが、何回も行方不明になっていきます。よって、ご不便をおかけしますが、補充はいたしませんのでご了承ください。





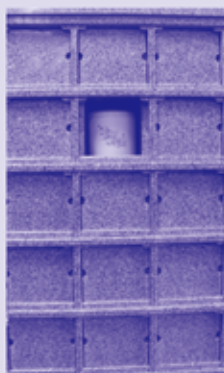
納骨堂のお知らせ

納骨堂増設決定!!

- ・蓮90万(通常価格100万)税別 14基
- ・蘭70万(通常価格80万)税別 10基

ただ今、完成までの年内先行予約の方に限り、**名碑家紋彫刻料 無料**

子供たちに負担をかけたくない!!

| 蓮 | 蘭 | 菊 | 杉 | 一人様用 |
|---|--|--|--|---|
|  |  |  |  |  |
| 間口 75cm 収納骨数 18 管理料(税別) 12,000円 永代使用料(税別) 100万円を 特別価格 90万円 | 間口 60cm 収納骨数 12 管理料(税別) 12,000円 永代使用料(税別) 80万円を 特別価格 70万円 | 間口 40cm 収納骨数 4 管理料(税別) 10,000円 永代使用料(税別) 50万円を 特別価格 30万円 より | 間口 30cm 収納骨数 2 管理料(税別) 10,000円 永代使用料(税別) 30万円を 特別価格 10万円 より | 間口 25cm 収納骨数 1 管理料(税別) 10,000円 永代使用料(税別) 15万円を 特別価格 5万円 より |

※ただし、年間管理料(5年分)・名碑代が別途必要になります。

ひやひや

加速する統廃合

先日、久しぶりに鹿児島島の街を歩いていると、目についた一枚の貼り紙。
「〇〇銀行からのお知らせ 福岡支店に統合され〇月〇日終了 お世話になりました」
こんな大きな銀行も生き残るために経営不振店舗は閉店される。
また、報道では電車もさらに路線も短くなる上に本数削減のお知らせ。
そんな不況の波も屋久島にも届いている。
来年〇月〇〇銀行統廃合のお知らせ。
これには私自身驚いたし、世の中の不況を実感として感じた。
あくまで、ひとりごととして言います。
どこの起業も地域密着型で地域発展の上の自社の運営につながっていく。
その時、みんなの力になるのが銀行。
その銀行が統廃合するという事は、やはり融資先の減少が一番の理由だと思う。
店舗があつていろんな手数料だけでは運営はできない。
また、一社が統廃合されるともう一社もどうなるかわからない。
お客様との会話の中で、〇〇銀行なくなることで大変だよ、別の銀行に変えなきゃいけないと不満と不安の声を聞くことが増えた。
言いたいことは〇〇銀行の事ではない。
各企業、赤字経営するわけにはいかないので、統廃合は必要な事。
その事により、取り残された車を持たない住民は、さらに不便な生活をする事になる。
また、聞いた話だが、宿泊業も大変。人手不足、経営者の高齢により、宿泊者に食事の提供ができなくなり、素泊りに転換しつつある。
それで一番困るのは宿泊者の方々であり、屋久島観光のサービス低下にもつながっていく。
本町合併もそう。
せめて行政は日常生活上での手続きが不便のないように、屋久島均一のサービスが受けられるようにしてほしい。
屋久島は少子高齢化に人手不足、人口減少、さらに観光客減少。
今、屋久島は坂を転がる石ころのように少しずつ加速している気がする今日この頃です。